

方部課長、主任専門員 ごあいさつ

そよそよと吹くこの涼風、『ふくここ』読者の皆さまは、いかがお過ごしでしょうか。

年度途中ではありますが、県中・県南方部センターの職員体制に変更がありましたのでお知らせします。

体制の変更はありましたが、「ほんの僅かであろうとも、皆さまが語ってくださる思いや語りきれない思い、言葉にならない気持ちや感情に、寄り添い続けたい。」という思いは、引き継いでいきたいと考えています。

さて、私、鈴木（保健師）が方部課長を任じられましたが、私自身は全く力不足なので、安定感抜群の主任専門員渡部恵美子さん（看護師）、超ベテランの宮澤賢次さん（精神保健福祉士）、情に厚い服部徳子さん（保健師）、メリハリのきいた田崎美和さん（作業療法士）、丁寧な仕事ぶりの大越寛大さん（精神保健福祉士）、深い読みの佐竹美紀さん（精神保健福祉士）、心優しい割栢啓美さん（臨床心理士）、打てば響く事務の穴戸聖子さんを頼りにしています。

総勢9名で協力し、平成29年度後半の事業を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

県中・県南方部センター方部課長 鈴木文子

私が「はじめまして」のご挨拶をさせていただいたのはいつだったのか、振り返るため『ふくここ』のバックナンバーを辿ってみました。2014年5月発行の『ふくここ11号』にありました。そこに書いたとおり、本当に多くの方に出逢い、一緒に喜んだり悩んだり笑って泣いて貴重な日々を過ごさせていただいていると実感しております。

『ふくここ』も今回で31号です。バックナンバーはホームページからご覧になれます。きっとホッと一息できますよ（*^_^*）

そして今後も県中・県南方部センターをどうぞよろしくお願いいたします。

県中・県南方部センター主任専門員 渡部恵美子



9月10日は世界保健機関（WHO）が定めた「世界自殺予防デー」です。

日本ではこれまで「自殺総合対策大綱」に基づいて行われていた自殺予防週間（9月10日から9月16日まで）及び自殺対策強化月間（3月）が「自殺対策基本法」に位置づけられました。

福島県では、9月と3月の各1ヶ月間を自殺や心の健康について理解を深め、偏見をなくすことを目的として「福島県自殺対策強化月間」と定め、自殺防止のための普及啓発活動に取り組んでいます。

自殺は自由な意志や選択の結果ではなく、健康問題、経済・生活問題など様々な要因が複雑に関係し心理的に追い込まれた末の死といわれています。

また、うつ病などこころの健康問題が大きく関係しています。うつ病について正しく理解し、早く気づき、適切な治療につなぐことは、自殺を防ぐことにつながります。

「まずは声をかけあうことから始めてみましょう!!」



【6月、南相馬市、浪江町に足を運んできました】

目の前に広がる風景は、震災前には見られなかった今の福島が映しだされていました。風景から湧き起こった感情を胸に抱きながら、今後の福島を見守り続けていきたいと思いました。

希望の牧場



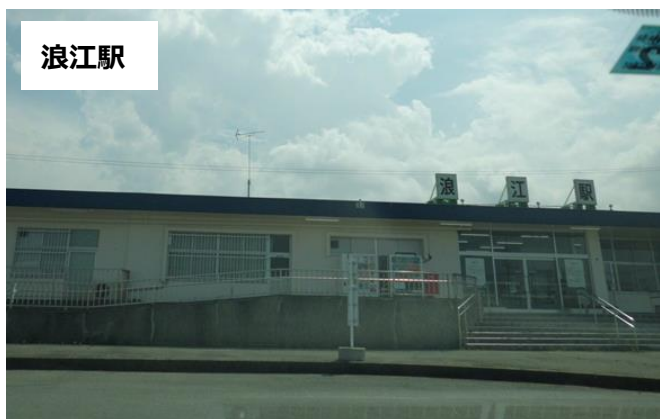
浪江町請戸付近



津波が押し寄せた土地には雑草が生い茂っていました。

広大な敷地の中に牛が放し飼いにされのんびりと草を食べていました。

浪江駅



駅の壁が
「大堀相馬焼」の
タイルで
飾られていました。



◇◇ 編集後記 ◇◇

訪問支援をさせていただいている方に勧められ、はじめて、相馬野馬追を見学してきました（2017.7.29）。
あんなに降っていた雨が、総大将の出陣を前に止んでしまったことが、この祭りを象徴している出来事のように感じました。
うまく表現できませんが、武者達には先祖とつながる普遍的な魂が宿っているように見えました。
そうすると、観客はただの観客ではなく、毎年この機に馳せ参じる“草の者”たちなのではないか … …と。

SUZUKI & 宮



●発行元

一般社団法人 福島県精神保健福祉協会
ふくしま心のケアセンター
県中・県南方部センター

〒963-8022

福島県郡山市西ノ内1丁目3-24
成和ビル1階

Tel 024-983-0274

Fax 024-983-0276

<http://kokoro-fukushima.org/>



【お問い合わせ先】

被災された方々やその
支援をされている方々
からのご相談

被災者相談ダイヤル “ふくここライン”
TEL 024-925-8322

平日 9:00～12:00、13:00～17:00

その他の
お問い合わせ

ふくしま心のケアセンター 基幹センター
TEL 024-535-8639 FAX 024-534-9917

〒960-8012 福島市御山町 8-30
(県保健衛生合同庁舎 5 階)